

東京トラベルサポートの職場改善を求めて SMTに団体交渉申し入れる

新幹線地本は、2月5日多くの組合員が出向しているSMT東京トラベルサポートの職場改善のためにSMTにたいして14項目にわたる要求をあげて団体交渉を申し入れました。

《主な要求の要旨》

- 東京トラベルサポート事業所発足以来多くの契約社員の採用を行ってきたが、残念ながら数ヶ月で退職する者が多く、なかなか定着しない。この現状をどのように捉えているのか明らかにすること。
- 出勤者の休憩時間の変更や買い上げ、明け番者の居残りによる超勤扱いで業務を回している状態が続いている。適正要員の確保を会社が責任をもって行うこと。
- 現在始業点呼は始業時刻（出勤時刻）の1分前から開始している。勤務時間でもないのに、定刻に点呼を開始すること。
- 泊勤務者が寝室へ行くためと起床後の移動時間を勤務時間とすること。
- 遺失物の電話業務において、長時間電話を保留にせざるを得ない状況を改善すること。
- 夏季制服および合着の洗濯回数を増やすこと。
- 寝室の枕が汗や涎染みで変色して不衛生であるため、新品に交換されたい。
- 4A・4B勤務を特定の社員にだけ指定することをやめること。
- 女性契約社員に対するセクシャルハラスメント対策を求める。
- 異経路での出勤を強要する「駅まで30分歩けばいいだろ」という発言を謝罪すること。